

地元の橋に愛着を

野里小児童と橋名板披露

オリエンタル白石

県大隅地域振興局建設部発注の総合流域防災（河川）（高須川30の1工区）の施工を担当するオリエンタル白石鹿児島営業所（児島剛所長）はこのほど、鹿屋市上野の新大花橋で橋名板披露式を実施。プレートデザ

インをした野里小学校の児童と一緒に披露目を行った『写真』。

同社では、6年生の児童らに卒業へ向けた記念と、通学などで利用する橋に愛着を持ってもらおうと「新大花橋・しんお

おはなばし・高須川・令和元年9月竣工」のデザインを依頼し、縦20cm×横30cmのブロンズを作成した。

同日は、岡留祐宏校長のほか担任教諭や保護者、作品を手掛けた下村菜緒さん、久保田穂美さん、下山春奈さん、重久新



汰さんが参加。左右4カ所にそれぞれが担当した橋名板の文字入れを行い、地域の新しい橋に命を吹き込んだ。

現場代理人の湯谷功工事所長は、「この文字は何十年先もここにあり、思い出に残るものだと思います。書いていただいた児童のみなさんはもちろん、指導して下さった先生方や保護者の皆さまに感謝しています」と語った。